



contents

- 巻頭コラム「鳥獣害対策について」
- 5月のリサイクル教室のご案内
- 環境部だより
- リサイクル教室の紹介

monthly column

鳥獣害対策について

NPO 法人環境みらい下関

理事 藤島俊博

私の住む菊川町において最近の10~20年間で急激に環境変化した問題がある。鳥獣被害の多発である。以前は山間部における猪の被害は聞いていたが、最近の被害急増の獣は鹿である。昭和30年代の植林や雑木伐採等の山林作業を頻繁にしていた頃に鹿を見ることは殆どなかったが、今は山林で見掛けることは勿論、平野部に頻繁に出没している。私の住む地域では毎夜数頭が出没しており、最近では日中でも時々見掛ける状況となった。出没ルートは決まっているためか、通過ルートの田畑には径が出来ている。

直接的な被害は稲、野菜、飼料作物、樹木の新芽、若葉類を食べ踏み荒らし生産量が減少することであるが、被害を受けた生産者の意欲を削ぐことが最大の問題である。車と衝突し修理をすることとなった話も頻繁に聞いている。

鹿、猪の一般的な対策は、「狩猟、わな捕獲等による個体数の減少」と「防護柵等による進入防御」である。進入防御手段では、山際のコシ網フェンス設置、田畑周囲の電気柵設置等を行っている。

私の所属自治会も、獣害防止柵設置は柵材料費用の行政援助があること、また田畑周囲の柵設置は農作業に邪魔になることから、山際のコシ網フェンス設置事業を市役所に申請し、認可を頂き設置をした。設置作業は、設置ルートの伐採、及びフェンス設置等を実施したが、相当な日数、稼働を要し、自治会会員の協力を得て完了した。

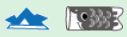
設置した場所からの出没はなくなった様であるが、設置ルートより外側からの出没は止まっていない。鹿の行動範囲は思ったより広く、防衛したつむりの田畑も廻り込んで再来し効果は薄い。フェンスの更なる延長拡大が必要であるが、単独自治会を超えた連携や町全体としての連携が必要である。



山林の害も重傷である。戦後植林し、長年手入れしてきた杉、檜の優良木が、鹿の「角擦り傷」や「樹皮剥」被害を受け、木材としての商品価値がなくなる事象であるが、搬出が容易な林道沿いの樹木は殆ど被害を受けている。真っ直ぐで良い木が被害を受けている。樹木の成長は時間を要し、世代を越えて育てたものだけに、被害を受けた生産者の落胆は大きい。

一般的な対策は、「木の下部に防護物を巻き付け」及び「防護柵による山林エリアの囲い込み」であるが、経費と稼働を要しなかなか進まないのが現状である。

最近では割合頻繁に掲載される鳥獣害防止の記事に目を通し、優良対策はないかと切抜きをしている。全国の鳥獣被害額は農作物で年間約200億円程度あり、同程度の対策費が使われているが、自然界において何らかのバランスが崩れると大きな問題となり、その対策に膨大な稼働と予算を投ずることとなる。対策が進展し、田舎の過疎化要因にならないように願っている。



5月のリサイクル教室のご案内



曜日	日時	講座名 講師名	講座内容
火	21日 10～15時	組みひも 津森 美智子	古布及び毛糸などを利用して、帯締めや各種ヒモ類を作ります。 持参する物:参加料 400円・裂き布・毛糸など・昼食 定員:4名
	14日・28日 10～12時	着付け 津森 美智子	「着る」「着せる」を貴方の目的やペースに応じてご指導いたします。 持参する物:参加料 400円・着物・帯・その他小物 定員:10名(2日間参加できる方限定)
	14日・28日 13～15時	和服のリサイクル 芳川 妙子	古着物や古帯を利用して、オリジナル作品を作ってみませんか。 持参する物:参加料 400円・ゆかた・着物・帯・裁縫道具 定員:10名(2日間参加できる方限定)
	14日 10～12時	廃食油で石けん作り 福井 和恵	ご家庭の廃食油を材料にして石けんを作ります。 持参する物:参加料 150円・エプロン 定員:20名
水	1日・15日 10～12時	布あそび 森田 芙路恵	古布で、今着たい服を作ります。 持参する物:参加料 400円・不用の布・裁縫道具 定員:15名
	15日 13～16時	古布でぞうり作り 佐藤 緑	持参する物:参加料 400円・30cmものさし・はさみ・洗濯バサミ 2個 綿で縦布(幅 10cm、長さ 60cm)40本 (幅 9cm、長さ 75cm)1本 (幅 2cm、長さ 35cm)4本 (幅 6cm、長さ 45cm)1本 定員:10名 5月17日と2日間できる方限定。
木	2日・16日 10～14時	古布で小物 永岡 ハツエ	古布で「季節の小物」を作ります。 持参する物:参加料400円(材料代別)・裁縫道具・手芸用ボンド・軽食 定員:10名(2日間参加できる方限定)
	9日・23日 10～12時	パッチワーク 小笠原 典子	ミニタペストリー・バッグ・小物などを作ります。 持参する物:参加料 400円・裁縫道具・材料のハギレ 定員:10名
	9日・23日 13～15時	毛糸で小物 内田 チズ子	最初はあまり毛糸でタワシを作ります。 持参する物:参加料 400円・中細くらいの毛糸・カギ針 4～5号 定員:10名
	9日・23日 13～16時	表具 森 宏司	掛け軸や色紙掛けを作ります。 持参する物:参加料 400円(材料代別) 定員:5名(2日間参加できる方限定)
金	17日 13～16時	古布でぞうり作り 佐藤 緑	15日の続きから編みます。 2日間参加できる方限定。
	10日・24日 10～12時	裂き織り 小笠原 典子	木綿や絹の古着を裂いて、バッグ・インテリアグッズを作ります。 持参する物:参加料 600円・木綿や絹の古着・ハサミ 定員:8名 ※編み機持参者可※参加料は同じです
	31日 10～14時	エコクッキング 家根内 清美	持参する物:参加料 600円・エプロン・三角巾・筆記用具 定員:20名 場所:山口合同ガス ひまわり館 下関市本町三丁目 1-1 締切り:5月24日
土	11日・25日 10～14時	竹細工 竹取り物語	竹材を利用して竹トンボなどを作ります。 持参する物:1回 200円 定員:10名
	11日・18日 10～12時	布のリフォーム 高田 和代	古い着物や衣類を蘇らせ、自分だけの一着を作ります。 持参する物:参加料 400円・裁縫道具・解いた服や着物 定員:10名
日	12日・26日 10～12時	ガラス工芸 木下 照親	ガラスに砂を吹き付け削り、オリジナル絵柄作品を作ります。 持参する物:参加料:1回 400円・ガラス製のコップ・鉛筆 定員:10名
	5日 10～12時	ベランダ菜園 久田 豊樹	ベランダ菜園土づくりについて講話 持参する物:参加無料、特に指定なし 定員:10名

◎教室の申込み方法◎

5月1日(火)午前10時～電話受付を開始します

<申込みが少数の場合及び、講師の都合等により中止や延期になる場合がありますので、ご了承ください>



地球温暖化と「緑のカーテン」

風薫る5月となりましたが、暦の上では5月5日は立夏で、いよいよ暑さの厳しい夏に向かう季節になりました。特に近年は地球温暖化が叫ばれて久しく、行政のみならず様々な事業所や個人レベルにおいて省エネを含めた地球温暖化対策に取り組まれています。

そこで、今回は、暑い夏を少しでも快適に過ごすための方法として広く取り組まれている「緑のカーテン」をご紹介します、この夏の暑さ対策の参考にしていただきたいと思います。

さて、「緑のカーテン」に関する下関市での取り組みは、官民で構成する下関市地球温暖化対策地域協議会を通じて平成20年から始まりました。当初は環境部庁舎のみに設置していましたが、平成21年には、モデル校として関西小学校が選ばれ栽培や試食を行うとともに、学校PTAや市内の施設へもゴーヤの苗が配布されるようになりました。平成22年には、モデル施設による取り組みも始まり、その第1号として児童館「ひこまる」が選ばれています。さらに、平成23年からは一般市民の方にゴーヤの種を配布し、大変喜んでいただくとともに、その分、市民の関心の高さをうかがうこともできました。



成長する様子



ひこまる(カーテン内部)

なお、環境部庁舎での取り組みは、試行錯誤を繰り返すうち年々レベルアップし、写真にあるように見事なカーテンを作り出すまでになりました。



環境部庁舎



収穫の様子

「緑のカーテン」を作り出すことにより、一般的に室温は平均で3℃ほど下がるとされており、山口県が平成20年に行った調査によっても、電気使用量が14~18%ほど削減されたとの実績が示されています。温度を下げるだけでなく、真夏の日差しを抑え、見た目にも涼しげな「緑のカーテン」ですので、まだ取り組んでおられない方はぜひ一度お試しになってはいかがでしょうか。



給食での試食

また、「緑のカーテン」だけではなく、軽装で過ごすクールビズや涼しさを分かち合うクールシェアなども意識して、この夏を少しでも快適に過ごしていけるようにしたいものです。

リサイクル教室の紹介

布あそび教室

貴方もハンドメイドをしてみませんか

＜布あそび＞では、着なくなった和・洋服などを利用して、帽子・バッグ・服・アクセサリ・小物等、貴方の生活に役立つ物づくりをしています。教室では、それぞれ個人の欲しい物を制作しています。他の方の作品を見るのも参考になりますし、完成の喜びを教室の仲間と共有もできます。

楽しい教室ですので、お時間ありましたら、貴方も参加してみませんか。



日 時：毎月第1・3水曜日
(変更になる場合もあります)

時 間：10時～12時

参 加 料：1ヶ月400円

定 員：15人

持 産 物：裁縫道具、不用の布

講 師：森田芙路恵

ボランティアの募集をしています

今年度より、下関市生涯学習まちづくり「出前講座」に「207 環境教室」として「牛乳パックでハガキ作り(紙すき)、新聞紙などでエコバック作りを体験し、ごみの減量を考えます。」の内容で登録いたしました。

登録後、この講座に多くのお問い合わせ等(当法人に)頂いており、今後もお要望にお応えするためにも、一緒に活動頂けるボランティアの方の力が必要です。

ご希望の方は、NPO法人環境みらい下関(Tel.083-252-7220)へお問い合わせください



しものせき環境みらい館 は、

「見て」「聞いて」「触れて」「楽しみながら」
リサイクルの体験・学習ができます。



【ご利用案内】

開館時間 10:00～17:00

休 館 日 月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)

・バスをご利用の方

下関方面「垢田」、川棚方面「稗田中央」より徒歩 約5分



しものせき環境みらい館

751-0847 下関市古屋町一丁目 18 番 1 号
tel.(083)252-7220 fax.(083)252-7222
URL:<http://www.kankyo-mirai.jp>
Mail:eco@kankyo-mirai.jp
NPO法人環境みらい下関